

登録番号	20151	作品名	「光のモザイク+」人の流れを感じ、視覚が交流する窓 ／ショーケース 小田急電鉄 新宿ミロード リニューアル計画
使用製品 (○をつけてください)	ガラスブロック ネオパリエ ラピエ フィノ グラソア チュービー アクラス ベルーナ	ファイアライト	その他の製品



ミロード2階：エントランス部分の赤のカラーガラスにより人々を誘引する。赤いカラーガラスに象嵌されたショーウィンドウと、床の白とグレーの大理石の埋めぎにより商業空間としての演出した。



本プロジェクトは、新宿南口（サザンテラス）から西口（小田急ハルク）に至る小田急電鉄グループの資産の活性化構想「大通り構想」の一環であり、重要施設であるモザイク通り及びミロード（竣工1984年）のリニューアルに関するプロジェクトです。コンセプトとして、

- 1 南口と西口を結ぶ動線をわかりやすく提供（クラリティ政策）
- 2 憩える、ゆとりある溜り空間を提供
- 3 情報発信型テナントを誘致し、話題性・先鋭性をアピール
- 4 情報発信機能を強化し、グループ商業施設へのさらなる回遊を図る、

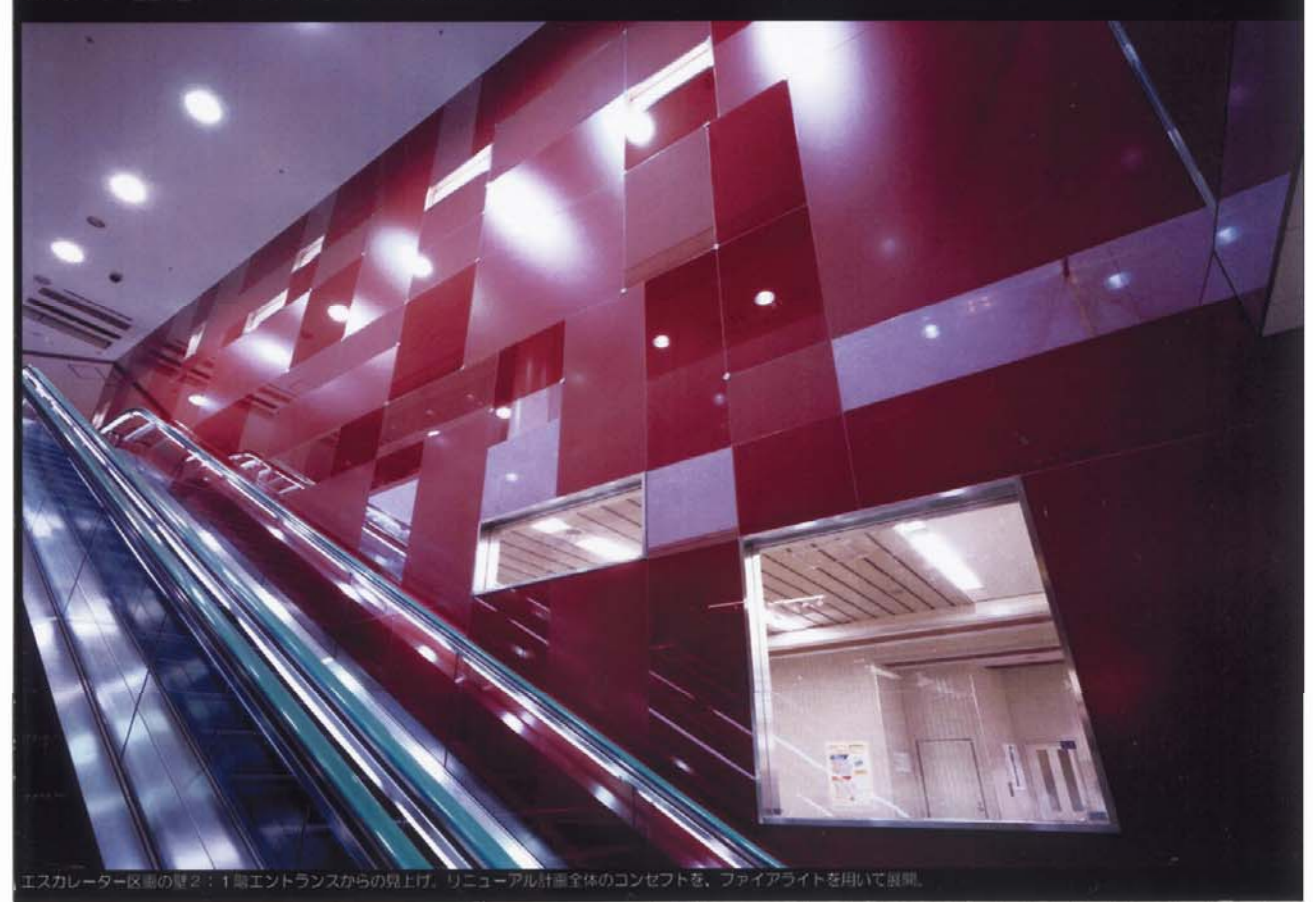
という4つのコンセプトを軸にモザイク通りのリニューアル計画におけるデザインコンセプトを展開しました。新たな価値「+」を付加し、これからの時代に向けての「MOSAIC+」を創ることをテーマとしました。今までの「モザイク」（抽象化、分節、集合、ほかし）イメージに「MOSAIC」（高さ・厚さ、情報、光、時間）を付加し新しい「MOSAIC+」のキーワードマップ（情報発信、こだわり、溜まり、憩い、回遊、共鳴）を作成しそれぞれの空間ごとに展開した。「散りばめられた宝箱の中を探索する」を空間のイメージとし、様々に彩られたデザインされた店舗の集まりにより、華やかなイメージを演出し回遊の楽しさを引出すことに成功しました。

モザイク坂：新宿西口広場からの入口はルーバーの光モザイクボックス、店舗の自明かりが人を招き入れモザイク通りへのアプローチとなっている。

コメント	新宿駅南口に隣接した往來の激しい商業施設へのエントランス導入部の壁。要求条件は、 ①商業施設らしい顔の創出 ②誘引性 ③人の流れが視認できる安全上の配慮 ④エスカレーター廻りの防火区画 という4つ。ファイアライトを象嵌した窓が、デザインテーマである「MOSAIC+」壁となって上階に展開する。 店舗フロアでは、窓がショーケースとなり シーズンごとに変化するディスプレイを両面から見る事ができる。
------	--



エスカレーター区画の壁：「MOSAIC+」ハタンの赤いカラーガラスの中にあるショーウィンドウがファイアライト。



エスカレーター区画の壁2：1階エントランスからの見上げ、リニューアル計画全体のコンセプトを、ファイアライトを用いて展開。